



いばらし こだい 井原市の古代の「こと」「もの」を見て、触って、体験できる

古代まほろば館は平成17年11月に開館しました。井原市内で出土した弥生時代や古墳時代の人たちが生活するために使っていた土器や、独特の文様がある銅鐸などを展示しています。実際に展示されている道具をどのように使ったのか、イメージしやすいイラストと一緒に見ることで分かりやすくなっています。他にも、発掘調査や出土品をきれいにしたり、元に戻す整理をしたり、いつの時代のものかを突き止めるための研究と展示のほかに収蔵なども行っており、文化財に対する興味と理解を深めるための活動をしています。

◆ 施設のおすすめ

この施設で展示している銅鐸は井原市から出土したものの3つのうちの1つです。その銅鐸には水銀朱といわれる赤色の顔料がついていて、作られたときは真っ赤な色の銅鐸だったことを知ることができ、赤い銅鐸というのは全国的にも珍しいものです。「文化財センター講座」としていろいろな企画も準備していますし、事前に連絡を貰えれば「れきし古代体験教室」という、まいぎり法という当時の火起こしを実際にやってみたり、滑石という柔らかい石を切ったり削ったりして勾玉を作ってみたり、ガラスの棒を溶かしてガラス玉作りを体験することができます。

◆ 子どもたちへのメッセージ

弥生時代と古墳時代の土器にどんな違いがあるのかなどをしっかりと観察して想像することと合わせて、「文化財センター講座」や「れきし古代体験教室」でいろいろなことを体験してもらうことで、弥生時代・古墳時代の人たちがどんな生活をしていたのかを身近に感じて貰えると思います。是非、足を運んでみてください。



たても の ようす 建物の様子



てんじつ 展示室



どたく な 銅鐸を鳴らしてみよう



こだい かわら つく 古代の瓦の作り方



ろくく げ さだすきもんどたく みょうけんどうたく 六区袈裟襷文銅鐸(明見銅鐸)



しゅつど どき 出土した土器



しゅつど だま 出土したガラス玉